



姥屋敷地域

＼ 地域やさしさプラン /



滝沢市における根幹の計画である「第2次滝沢市総合計画」がスタートいたしました。そして、各地域とともにワークショップを開きながら、地域自らが実行していく「地域別計画(地域やさしさプラン)」を策定いたしました。今後、振り返りをしながら市民一人一人がやさしさを広めていきましょう。

▶地域の紹介

私たちの地域は、岩手山の麓に位置し、戦後に開拓入植され、酪農、高冷地野菜生産などの農業専用地域です。雄大な自然を背景に、鞍掛山、相の沢牧野などの地域資源もあり、来訪者も多い地域となっています。

人口の少ない地域ですが、子どもから高齢者まで「絆」を大切にした地域づくりを進めています。



▶地域の情報

	滝沢市 (R5. 3. 31)	姥屋敷地域 (R5. 3. 31)	割合
人口	54,961 人	272 人	0.5%
世帯数	23,979 世帯	121 世帯	0.5%

▶姥屋敷地域づくり懇談会

姥屋敷自治会、姥屋敷いきいき21推進委員会、消防団第10分団、姥屋敷小中学校PTA、老人クラブ、子ども会育成会、地域内事業者、地域住民(順不同)

目指す！
地域の姿

健康をつくる白い牛乳、緑の野菜、
住むならばお山のふところ 姥屋敷

地域の現状と課題

姥屋敷地域の魅力

- 春子谷地から望む山並み、石清水の景色、のどかな農村風景など自然の豊かさがあり、のびのび子育てをするのは良い環境です。
- 岩手山を中心とした山々に近いです。
- 地域交流のあるお祭りがあります。
- 水害リスクが少ない地域です。
- スマートインターチェンジにより交通の便が良くなりました。
- 除雪対策がしっかりされています。

姥屋敷地域の課題

- 道路環境が悪い場所が多いです。
- 自家用車が必須で交通面に不安があります。
- デジタル放送、携帯電話の電波環境が悪いです。
- 人口減少が深刻で、小中学校存続の協議も必要になってきています。
- 高齢化により、各作業が難しくなっている世帯が増えています。

目指すべき地域づくりの方向性

1. 子どもからお年寄りまで、みんなが元気で安心して暮らせるまち

道路環境や交通環境の改善を要望し、地域防災にも取り組みながら、子どもからお年寄りまでが安心・安全な暮らしが出来るまちにします。

2. 豊かな自然を守るとともに、地域の資源を活用したまち

岩手山をはじめとして、春子谷地、石清水など素晴らしい景観の自然を守りながら、地元で根付いている酪農・農業の盛り上げも図りながら、新しい魅力づくりにも取り組みます。

3. 住民が交流し合い、住みたい・住み続けたいと思えるまち

人口減少の中でも、地域で協力・交流を大切にし、イベントを通して世代間交流も続けていきます。

具体的な取組

1. 子どもからお年寄りまで、みんなが元気で安心して暮らせるまち

取り組み項目（何をするのか）	実施方法（どのように進めるのか）
公共交通の利便性を向上させます。	<ul style="list-style-type: none"> ● デマンド交通の社会実験が良かったため、継続を要望します。 ● 周辺の地域と一緒に公共交通について考える場を設けます。 ● 公共交通について、市への要望を進めます。
地域で買い物ができる工夫をします。	<ul style="list-style-type: none"> ● 移動販売を継続するように、生協やJAなどと連携します。
高齢者の見守りを行います。	<ul style="list-style-type: none"> ● 民生委員と一緒に見守り活動を継続します。
除雪対策を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ● 雪が多い地域であるため、除雪隊などの仕組みづくりを検討します。
道路整備（草刈り、表示）を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ● 鬼越線の草刈りについて、市に要望します。
子どもが遊べる場所を確保します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 遊び場の検討を継続します。
地域全体で子どもを見守り、育てる体制を続けます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 学童が地域内にあると良いので、要望を継続します。 ● 子どもの安全確保のための見守り活動を継続します。
交通安全対策に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 盛岡西警察署にスクールゾーン設置の要望を継続します。 ● 速度超過の注意喚起をする取組を行います。 ● 警察や市への要望を継続して行います。

2. 豊かな自然を守るとともに、地域の資源を活用したまち

取り組み項目（何をするのか）	実施方法（どのように進めるのか）
岩手山の活用をします。	<ul style="list-style-type: none"> ● 景観の保全を市の景観施策と連動して行います。 ● 観光地としての検討をしていきます。 ● 草刈りを市と役割分担しながら進めます。
春子谷地の活用をします。	<ul style="list-style-type: none"> ● 地質や植生の調査を専門家に要望します。 ● 展望台の設置を検討します。 ● 市の案内看板の充実を要望し、活用について市とともに検討します。
相の沢キャンプ場、牧野の活用をします。	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路拡幅を市に要望していきます。 ● キャンプ場周辺の施設を活用したイベントを実施します。 ● 広い牧野をイベント等に活用できるように検討します。
観光整備をします。	<ul style="list-style-type: none"> ● お店をまとめ、まち歩き、サイクリング、ドライブに繋げるようなマップを作成します。 ● サイクリングロードの整備、自転車競技の誘致などを検討する。 ● 歴史や文化を元に物語をつくり、地域の関心を得られるよう進めます。
特産品をつくります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 山ブドウなどを活用した6次加工化に取り組みます。 ● 地産地消の飲食店が増やし、経済活動に繋げていきます。

3. 住民が交流し合い、住みたい・住み続けたいと思えるまち

取り組み項目（何をするのか）	実施方法（どのように進めるのか）
移住・定住に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 移住者を増やすために、農業体験できる場を設けます。 ● 牛と交流できるような場を設けます。
イベントへの参加者を増やします。	<ul style="list-style-type: none"> ● 多団体との共催イベントを検討します。 ● 参加者が増える工夫をします。 ● 家族以外の方との交流の機会を増やすような取組を進めます。
新しい交流の場の検討をします。	<ul style="list-style-type: none"> ● 遊ぶことができる広場や遊具設置の検討をします。 ● キャンプ場などの自然を活かした場の設置を検討します。 ● 農家や酪農家と交流する機会を設けます。 ● カブトムシの幼虫採取体験、ヒマワリ迷路などの企画を検討します。
休んでいたイベントを復活させます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 夏祭り、運動会など実施していたイベントの復活を目指します。 ● 世代間交流を目的としたイベントを検討していきます。

地域の宝物

私たちの地域には、自然・歴史・文化に育まれた伝統芸能・食文化・景観・自然環境など、次の世代に継承したい宝物があります。

▶地域の写真



▶地域づくりの歴史

- 平成14年 姥屋敷いきいき21推進委員会設置

▶計画期間

8年間(令和6年度～令和13年度)

- 令和6年4月1日 策定

▶地域の施設 ※印のある所は指定避難所です

施設名	住所	問合せ先
姥屋敷小中学校※	鶉飼安達 117-19	680-2401
岩手花平農業協同組合	鶉飼安達 138-13	680-2211

施設名	住所	問合せ先
たきざわ自然情報センター	鶉飼安達 114 -7	691-6555
相の沢牧野	鶉飼姥屋敷 108	680-2411